

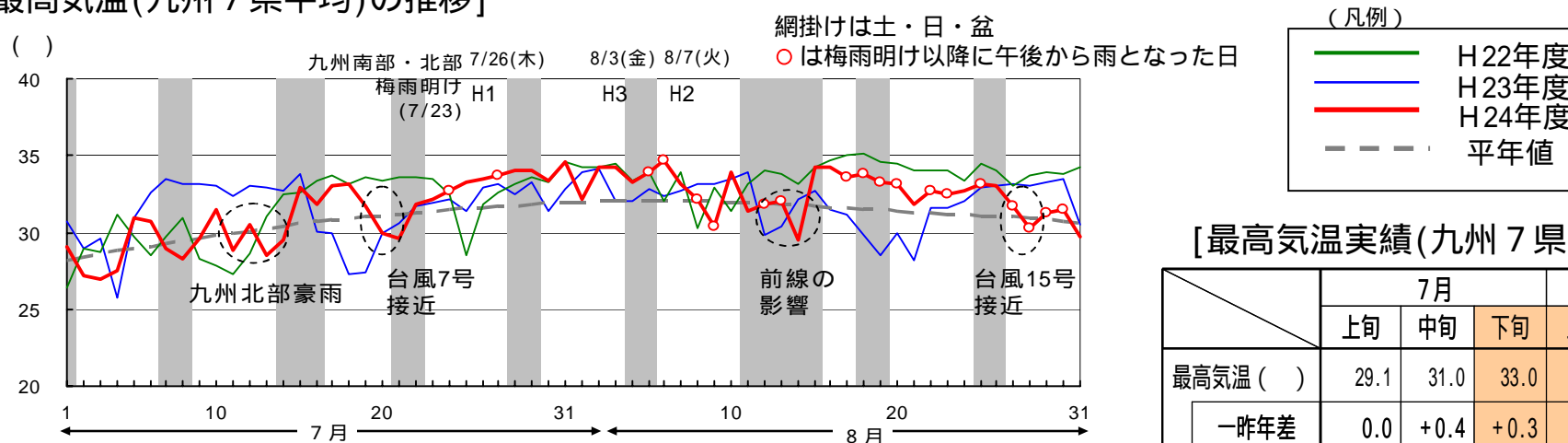
# 今夏の需給実績について(速報)

平成24年9月7日

九州電力株式会社

7月中旬までは九州北部で豪雨となるなど、天候不順が続き、7月23日に平年より遅く梅雨明け。  
 その後、7月下旬から8月上旬にかけては、最高気温が平年を上回る日が継続。【7月26日に時間最大電力を記録】  
 8月のお盆以降には、太平洋高気圧が強まり、高気温となる日が継続。ただし、この時期は、上空の寒気の影響を受け大気が不安定となったことから、午後からの雷雨が多発。【時間最大電力は低く推移】  
 このため、九州全域が一様に高気温となる日が少なく、更に8月の最高気温は一昨年より低く推移。

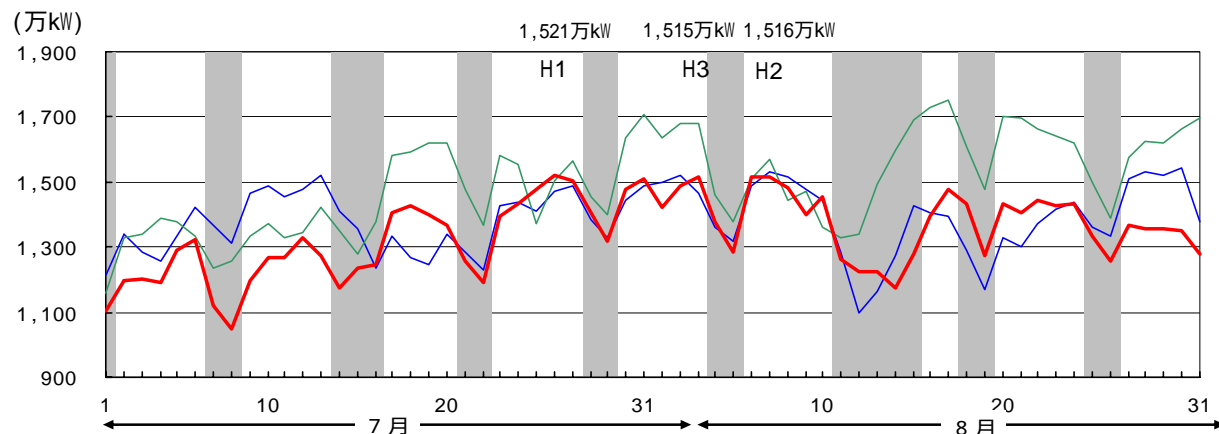
## [最高気温(九州7県平均)の推移]



## [最高気温実績(九州7県平均)]

	7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
最高気温(°C)	29.1	31.0	33.0	33.2	32.7	31.9
一昨年差	0.0	+0.4	+0.3	0.6	0.6	2.2
前年差	1.1	0.8	+1.5	+0.5	+0.9	+0.3
平年差	+0.1	+0.4	+1.4	+1.2	+1.0	+0.9

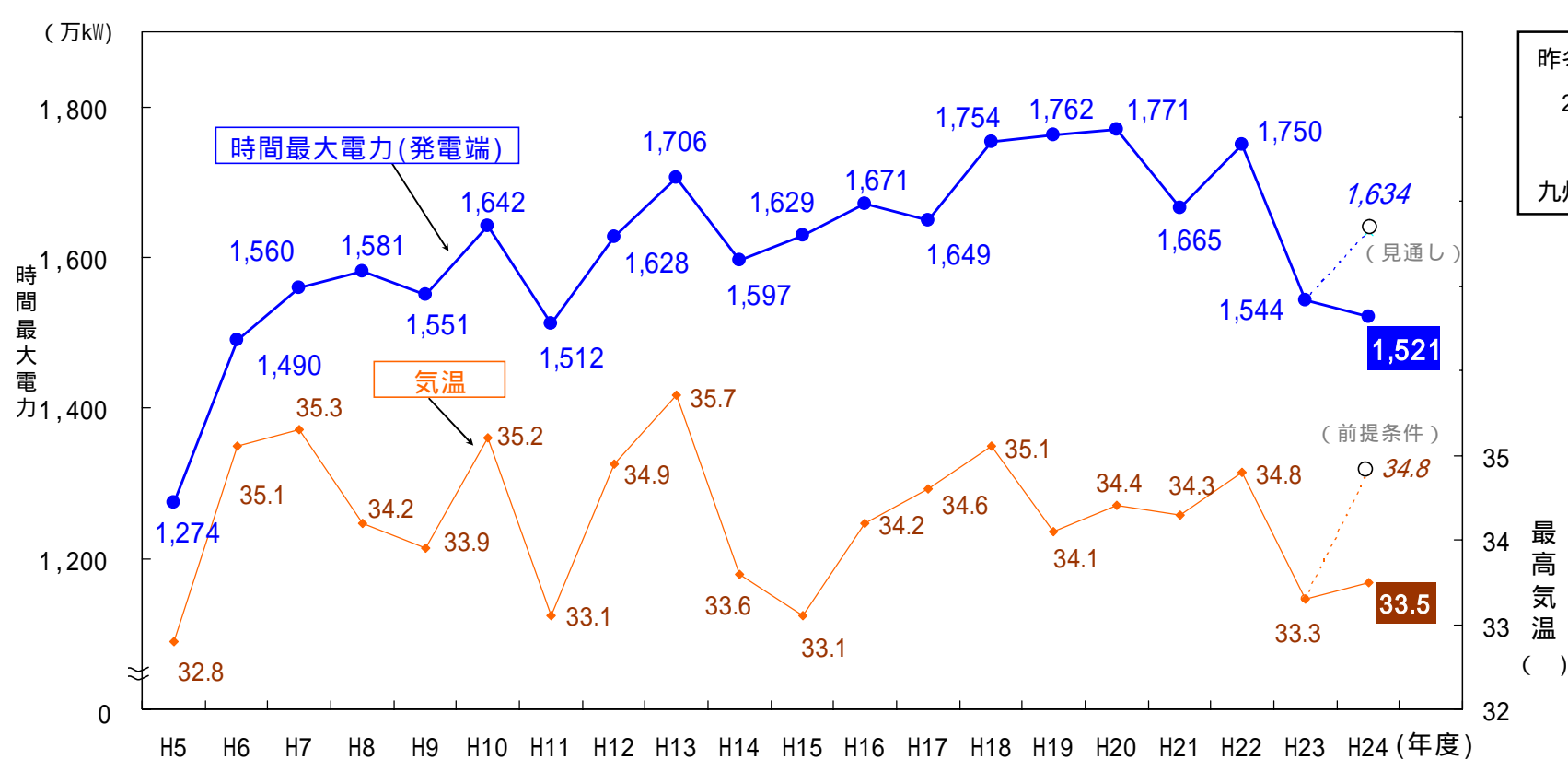
## [時間最大電力(発電端)の推移]



## [梅雨明けの時期]

	九州北部	九州南部
H24年度	7月23日	7月23日
H23年度	7月 8日	7月 8日
H22年度	7月17日	7月20日
平 年	7月19日	7月14日

今夏の時間最大電力 1,521万kWは、平成6～9年度夏季相当程度の水準。  
 また、昨冬の時間最大電力 1,538万kWを 17万kW下回った。

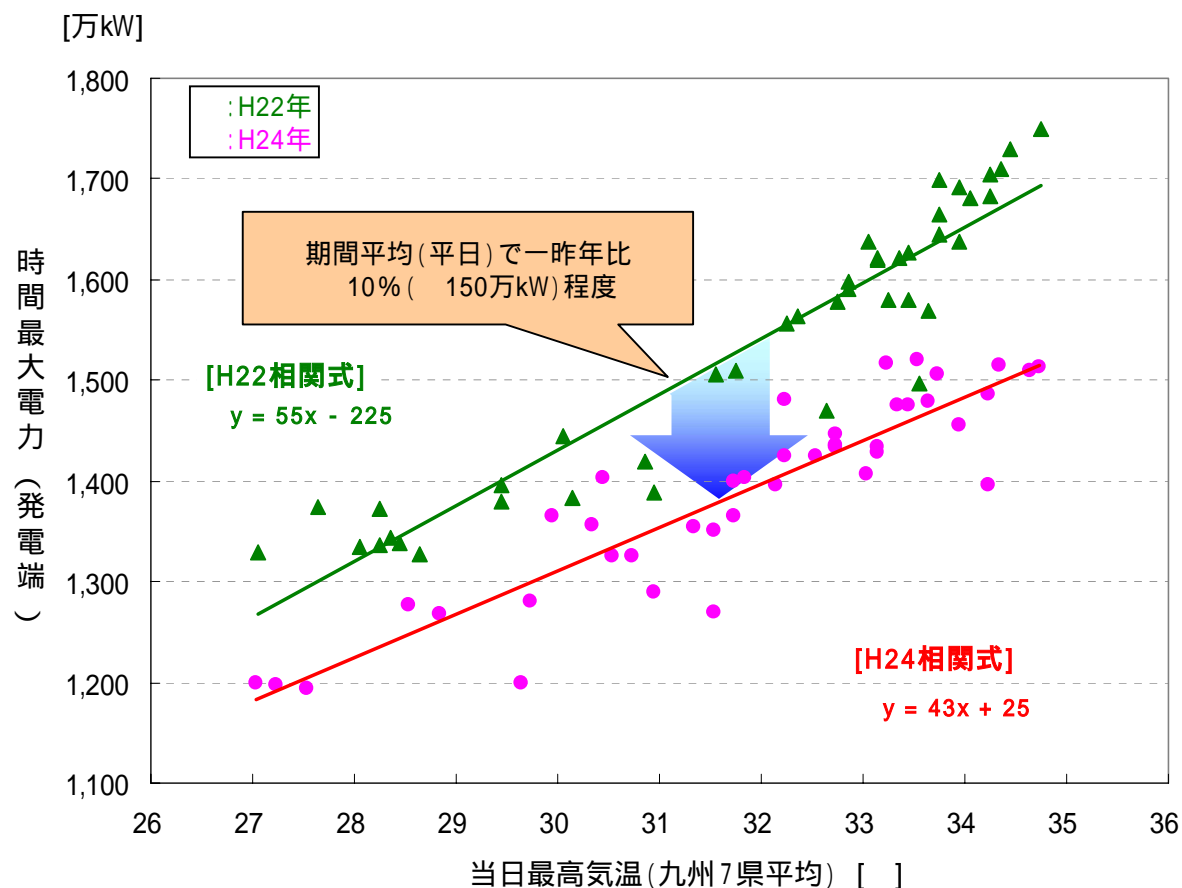


[参考]  
 昨冬の時間最大電力  
 2月2日(木)19時  
 1,538万kW  
 九州7県平均気温:2.1

注) 平成24年度 需要見通し(1,634万kW)の前提条件

- ・ 昨夏相当の節電(一昨年比 7%)を織込み
- ・ 気温は、猛暑であった平成22年度並み(34.8 )

## 【最大電力と気温の相関】



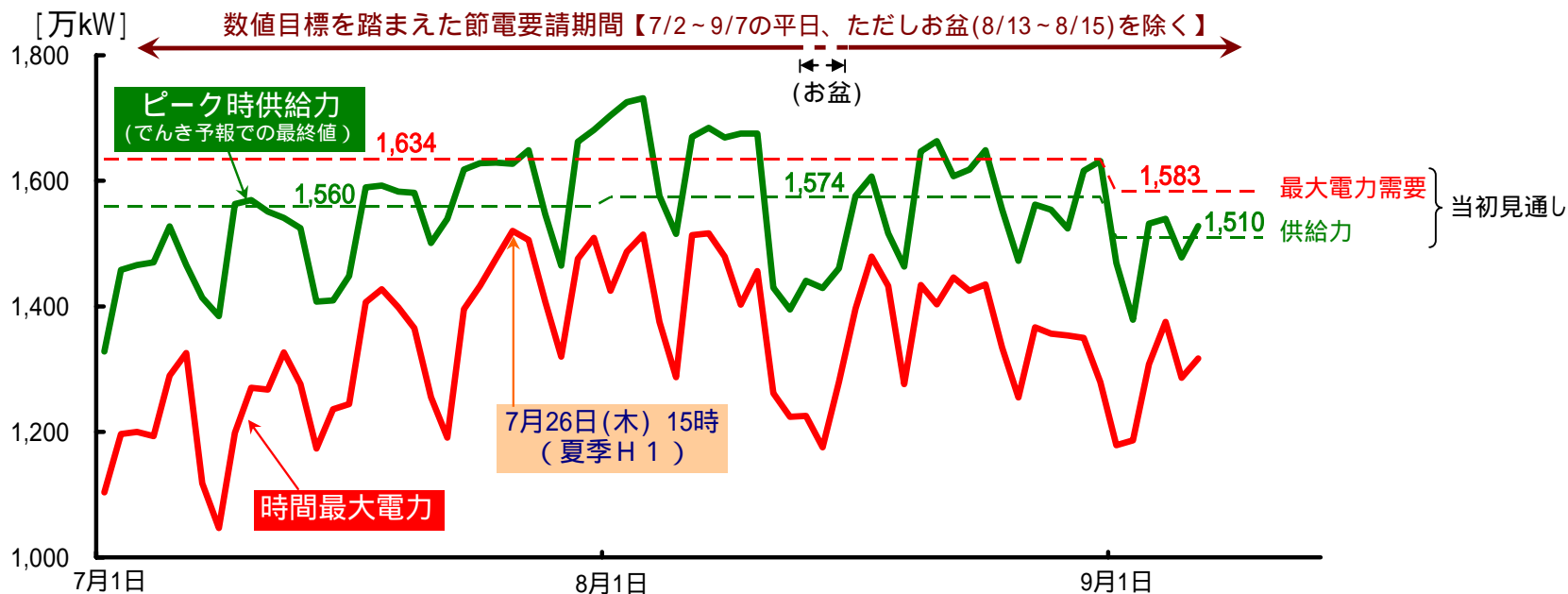
## 【用途別の節電効果等(一昨年比)】

	期間平均(平日)
家庭用 (一般のお客さま)	12% ( 50万kW)程度
業務用 (オフィスビルなど)	10% ( 70万kW)程度
産業用 (工場など)	7% ( 30万kW)程度

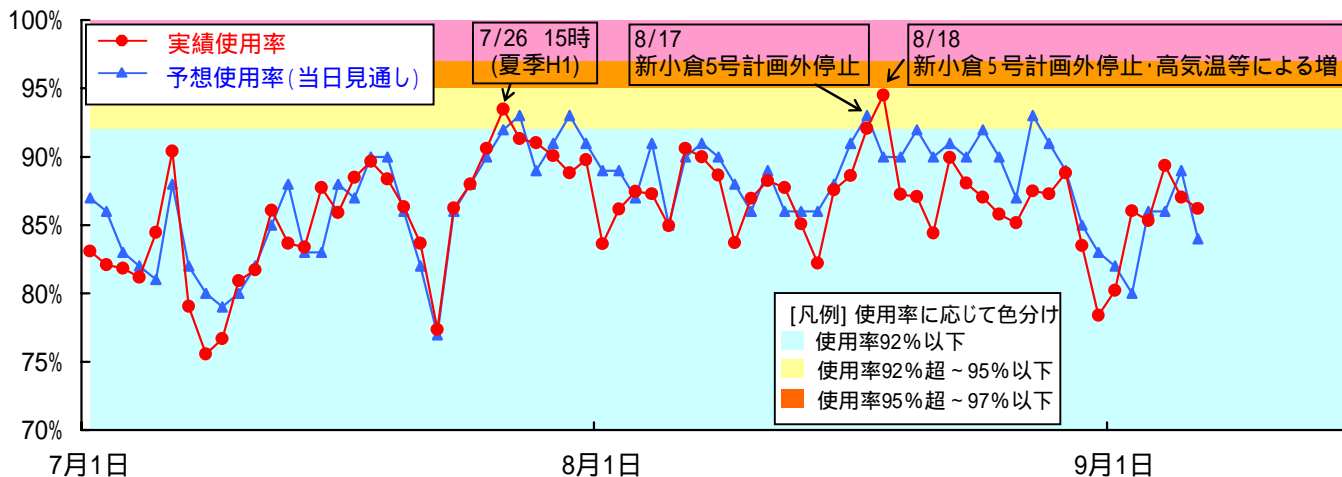
	期間平均(平日)
家庭用	12% ( 50万kW)程度
500kW未満	9% ( 60万kW)程度
500kW以上	8% ( 40万kW)程度

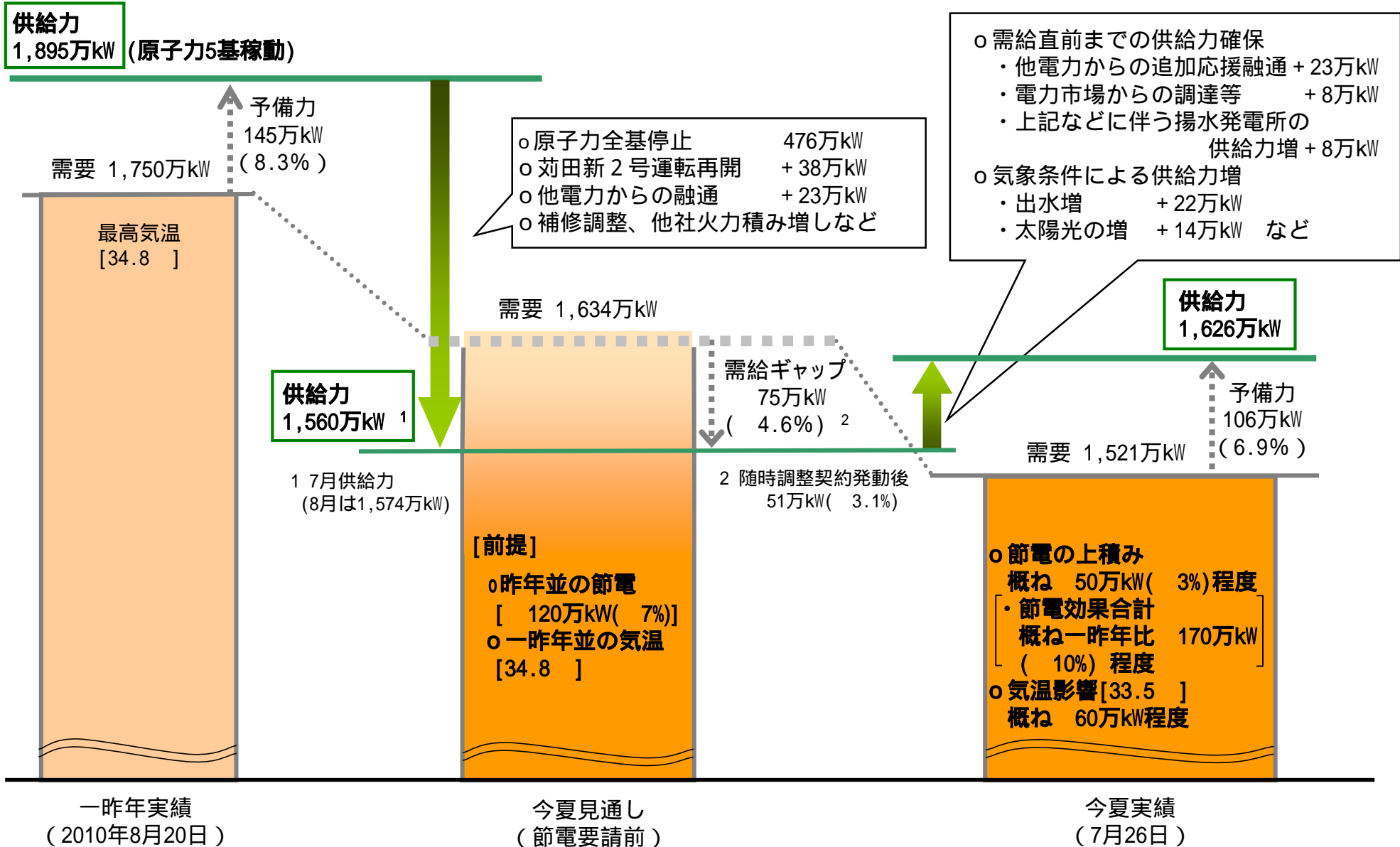
期間は7月2日～8月31日までの平日  
(お盆期間(8/13～8/15)を除く)

## 【時間最大電力と供給力の推移】



## 【使用率の推移】





今夏は、原子力発電所が全基停止し、厳しい需給状況となることが予想されたが、お客さまに節電のご協力をいただき、また需給両面での好条件も重なった結果、電力の安定供給を維持。

〔需要面〕

- ・お客さまによる節電の効果（昨年実績からさらに上積み）
- ・最高気温が一昨年より低く推移、また、8月中下旬は高気温ながら大気の状態が不安定で、雷雨が多発

〔供給面〕

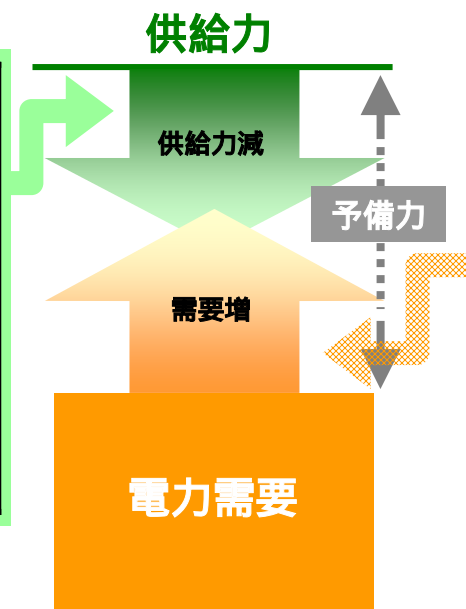
- ・高需要となった期間(7月下旬～8月上旬)に、主要電源の計画外停止なし
- ・降雨増に伴い水力供給力が増加
- ・中西地域におけるお客さまの節電効果に加え、大飯3,4号機再稼動に伴う供給力増により、中西地域全体での応援融通余力が増加（供給力最大日8/3の追加の応援融通：+75万kW、市場からの電力調達：+20万kW）

大飯原子力再稼動状況：3号機 7/9～フル運転、4号機 7/25～フル運転

ただし、以下の需給変動リスクが顕在化した場合、より厳しい需給状況となっていたと考えられる。

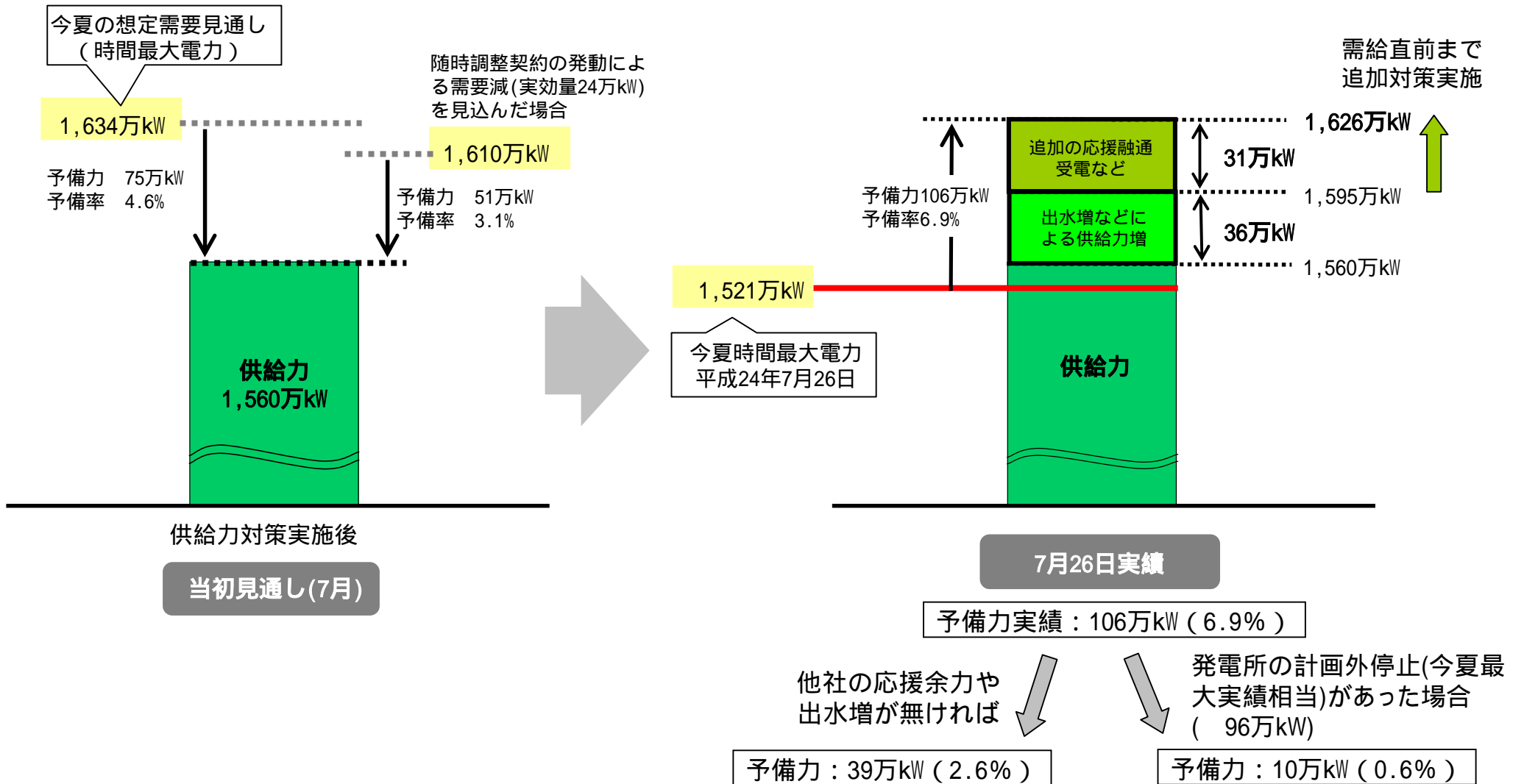
〔供給面の変動リスク〕

ケース	リスク [影響量]
A-1	発電所の計画外停止 (・単機最大 70万kW ・今夏最大実績 96万kW(9月2日～、新小倉5+荻田新1) ・小丸川下ダム洪水による発電制限 80万kW～120万kW)
A-2	渇水による水力供給力の減 (・渇水の場合 20万kW)
A-3	他社の応援余力不足による融通受電の減 (・中西地域の予備率の減、1%あたり 90万kW ・他社発電所の計画外停止)



〔需要面の変動リスク〕

ケース	リスク [影響量]
B-1	猛暑による需要増 (・気温1あたり +40～50万kW)
B-2	節電効果の減 (・節電率 1%あたり +17万kW)





	件数	調整電力
夏季計画調整契約（7月平日平均）	1,289件	58万kW
最大需要電力調整割引（7月実績）	46,408件	25万kW
スポット負荷調整契約（契約値）	605件	20万kW
節電アグリゲーター（契約値）	8社	3千kW程度
緊急時の節電ご協力お願いメール（9月7日時点）	9万件	

契約のみで要請しておりません。

## お客さまからのお問合せ件数(実績)

6月22日(金)～9月4日(火)の累計問合せ件数は 約15万6千件

ピークは節電要請期間初日 7月2日(月)の約3万3千件

### (参考) 当社事業所における節電取組み

当社事業所における電力使用量削減率は、7月度で、一昨年比約30%、昨年比約18%

#### [ 主な取組み内容 ]

- ・空調の適正管理
- ・照明間引き
- ・エレベーターの間引き運転
- ・パソコンディスプレイの照度調整 等